

17号

ハートフル
～きこえる いっしょに^{かんが}考えよう～

三木市子どもいじめ防止センター
平成31年1月発行

『グループ分け』

ある小学校 6年生のお話です。修学旅行が近づいていたある日、楽しい自由行動をする時などの班を作る事になりました。1グループ6人です。Aさんは、仲良しの子もいましたが、その子は、他の班に行ってしまいました。その班はもう満員です。

Aさんのクラスには、強い子のグループ、普通の子のグループ、弱い子やいじめられやすい子のグループがあるそうです。Aさんは弱い子のグループなのだそうです。今回、一人の強い子を取り巻くグループを1軍とよんでみます。普通の子のグループを2軍。弱い子やいじめられやすい子のグループを3軍とよびます。



Aさんは、修学旅行のグループ分けの時に悲し

い思いをしたそうです。仲の良い子と同じグループに入りたかったのだけど、そのグループは定員いっぱいでは入れません。1軍のグループと2軍のグループで定員にならないグループがあり、どちらかに入れてもらわなければなりません。1軍のグループのリーダーから「じゃんけんで負けた方がこの子を入れようか」という提案があり、その子の目の前でじゃんけんが行われます。負けた方が「シャ～ないな」と言います。とても残酷ですね。グループ作りからはみ出していたこの子の気持ちはどんなだったでしょう。1軍や2軍の子、あるいは3軍の子の中にもこんな目に自分があわなくて良かったと思う子もいるでしょうね。

メールでの
相談もできます



三木市子どもいじめ防止センター
電話: **0794-82-8110**

相談日 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

ijime_boshicenter@city.miki.lg.jp

三木市福井 1933-12 三木市立教育センター3階

祝日・12/28～1/4はお休みです

6月から
相談日が変更
になりました



スクールカースト

この言葉は、学者が作った言葉ではありません。インターネット上で広まりました。若い人たちにとってこのスクールカーストは「私達の学校でもある、ある」という感じで広がりました。カーストと言うのはインドの身分制度のことです。小学校高学年から子どもたちは自分の立ち位置を気にしだします。このスクールカーストは、小学校高学年から始まり子どもたち同士の中で認識され始めます。カーストで地位の低い子は、小さい頃からこんな悲しい思いを強いられているのです。

クラス内の不安や不満を解消するために「3軍」「空気の読めない奴」とかいう共通の敵を作り、クラスから排除するという構図です。



一旦敵とみなされたら最後、排除行動は延々と続きます。1軍、2軍は、「3軍降格」にビクビクしながら学校生活を送ることになります。いじめを見かねて「やめよう」と発言しようものならその瞬間に3軍落ちし、いじめられる側に回ってしまうのです。いじめが始まると、3軍からもはみ出し、孤立化させられるのです。孤独化させられた生徒は、クラスメイトからいじめの標的になりやすいのです。たとえいじめにあわなくても、自信を無くし学校生活の適応に大きな影響をおよぼします。

子どもたちは、カーストの降格にすごく恐怖心を抱いています。スクールカーストの降格は人格そのものの降格であるように感じられるのです。もし、いじめにあった時も親や先生に「自分はいじめられている」と訴えれば、本人自ら「私は3軍で友だちがない」つまり「人気のない子」だと自己申告することになります。自ら告白するほどみじめなことは無いと思ってしまうたり、いじめられる自分の立場をはずかしがったりして、「いじめられている」と言い出しにくいのです。

スクールカースト



便所飯

大学生や社会人になっても「友達のいない奴、さびしい奴」と周りから思われるのに恐怖心を抱き、一人で昼ご飯を食べる姿をみんなにみられたくないので、トイレの個室で食事をする若者がいるそうです。若者対象のあるアンケートで10人に1人は「便所飯の経験がある」と答えています。本当でしょうか。

あるビルのトイレの個室に「ここでお弁当を食べないでください」と張り紙が貼ってあったのを見て驚いたことがあります。

「友だちがいない人は、いじめられている人」と刷り込まれ、その気持ちが大きくて、大人になっても、「ひとりぼっち」をおそれ、「他人の目」を気にするようになってしまうのではないのでしょうか。

便所飯



ひとりで食事するやつ



友だちいないやつ



大きな恥

スクールカーストの上位には「自分のキャラをうまくアピールできる子」「相手とうまく話を合わせられる子」



「空気を読んで行動する子」が多いと言われていますが、空気を読んではっきり自分の考えを言わないで話を合わせるだけの集団の場合が多いそうです。これでは本当に親密な人間関係は作れませんね。

今、カーストの下位にいると思悩んでいる人！人は、みんなそれぞれ素晴らしい所を持っているものです！お互いを尊重し合い、何でも親身になって話し合える友だちを見つけてください。

いじめを止めるのは勇気のいることですが、STOPさせる方法はいろいろあると思います。どんな小さいいじめの芽を見た時でもまずは、だれか大人に伝えてください。

みんなを守りたいと願う大人は大勢います。

動画共有アプリの影に・・・

動画共有アプリの中で、音楽に合わせて踊ったり、口パクする様子を15秒ほどの動画に作成して投稿するアプリ「Tik Tok」等が人気です。スマホで簡単に作成できるので小学生から中高生に大人気だそうです。ノリの良い音楽に合わせて踊る姿が芸能人のプロモーションビデオのように見え、プリクラ感覚で投稿する人が多いようです。しかし、気軽に投稿できる反面、トラブルに巻き込まれる人が急増しています。

Bさんは、ダンスを投稿したことが友達にばれてしまい、学校で悪口を言われるようになりました。「気持ち悪い」とか「ブスのくせに」とか本人に聞こえるようにわざと言われるようになりました。仲の良い友達も避けるようになりました。学年中の友達にこの動画をばらまかれました。Bさんは、今、学校に来たり休んだりを繰り返しています。



Cさんが友達といっしょに投稿した動画が勝手にユーチューブに転載され、学校の体操服のマークと顔から個人を特定され、下校中に全く知らない人から「踊りかわいかったよ」と話しかけられゾッとしました。その人は待ち伏せしていたようです。

(※Bさん、Cさんどちらも三木の話ではありません)

小中学生でも、スマートフォンを持つ人が増えてきました。学校では持ち込みを禁止していると思いますが、スマートフォンをどのように使っていますか？世界中の人が見る事ができるインターネットには危険もいっぱいひそんでいます。家庭で、スマートフォンの使用ルールをしっかりと話し合ってください。